

第2章 | めざす都市像の実現に向けた基本姿勢

社会情勢が目まぐるしく変化し、社会課題の複雑化や市民ニーズの多様化が進む中において、新たな価値の創造や課題の解決を図り、市民生活の質や利便性を向上していくために、本市は、令和2(2020)年度に「SDGs未来都市」に応募し選定されるとともに、「デジタル変革宣言」を行いました。

SDGsの理念や考え方とデジタル技術の進展は、今後の社会を大きく変容させる可能性を持つことから、本計画では、「SDGsの理念の導入」と「デジタル変革の推進」を基本姿勢としめざす都市像の実現を図ります。



富士山とともに 輝く未来を拓くまち
SDGs 未来都市 富士市

第1節 SDGsの理念の導入

SDGsの理念に沿った取組を総合的に推進することにより、持続可能な社会を目指します。

- 1 政策推進の全体最適化**
事業を立案及び実施する際に、SDGsの理念や視点を取り入れ、経済、社会及び環境の相互的関連を意識し、統合的に取り組むことにより相乗効果を創出するなど、政策推進の全体最適化を図ります。
- 2 地域課題の解決**
SDGsという世界共通のものさしで地域を俯瞰して見ることにより、経済、社会及び環境の三側面から解決すべき地域課題を把握するとともに、本市固有の特徴や強みを活かし、多角的な視点から地域課題の解決の加速化を図ります。
- 3 パートナーシップの推進**
SDGsを共通言語とすることにより、グローバルな問題から地域課題まで多様な課題について、企業や市民団体など様々な関係者間の共通理解を深めるとともに、相互の協力関係を広げ、パートナーシップを推進します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



第2節 デジタル変革の推進

デジタル変革宣言におけるデジタル技術の最大限の活用は、本市が取り組むあらゆる分野において、市民生活の利便性と満足度を高めるために有効な手段です。

このため、デジタル格差に配慮しつつ、「市民サービス」、「地域活性化」、「行政経営」のデジタル変革を3つの柱として、デジタル技術の活用を強力に推進します。

富士市デジタル変革宣言

富士市は、急速に進化するデジタル技術を最大限活用し、様々な社会的課題に果敢に取り組むことにより、暮らしの質や価値を高め、安心で豊かなまちづくりを推進していくことを宣言します。

デジタル変革を推進する3つの柱

「市民サービス」のデジタル変革

いつでも、どこからでもオンラインでできる手続を拡充し、便利で安心な市民サービスの実現を目指します。

行政手続の
オンライン化

スマートフォン
アプリの活用

マイナンバー
カードの活用

「地域活性化」のデジタル変革

デジタル格差のない魅力的な地域づくりとともに、産業の活性化や都市機能の高度化を目指します。

GIGAスクール
構想^{※1}の推進

キャッシュレスの
推進

テレワーク
先進都市の実現

「行政経営」のデジタル変革

新たなデジタル技術の活用を積極的に進め、生産性の高い行政経営を目指します。

先端技術の
積極活用

デジタル
マーケティング^{※2}の推進

ワークスタイル
変革の推進

※1 GIGAスクール構想：児童生徒1人1台端末、及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させるために文部科学省が推進する構想。

※2 デジタルマーケティング：デジタルを活用したマーケティング活動のこと。ターゲットに対し、動画広告、SNS広告、ウェブ広告などのデジタルメディアを活用し、セグメント配信することで、情報に触れた人に行動させる仕組みであり、行動した人がどのように動いたのかも分析することができる。